



広報担当副知事
もずやん

薬薬連携を土台とした
退院時の情報共有の取組みの紹介
（「地域連携による在宅医療サポート事業」より）



大阪府 健康医療部 薬務課

大阪府内の薬事業務について

府内の薬事関係業態数

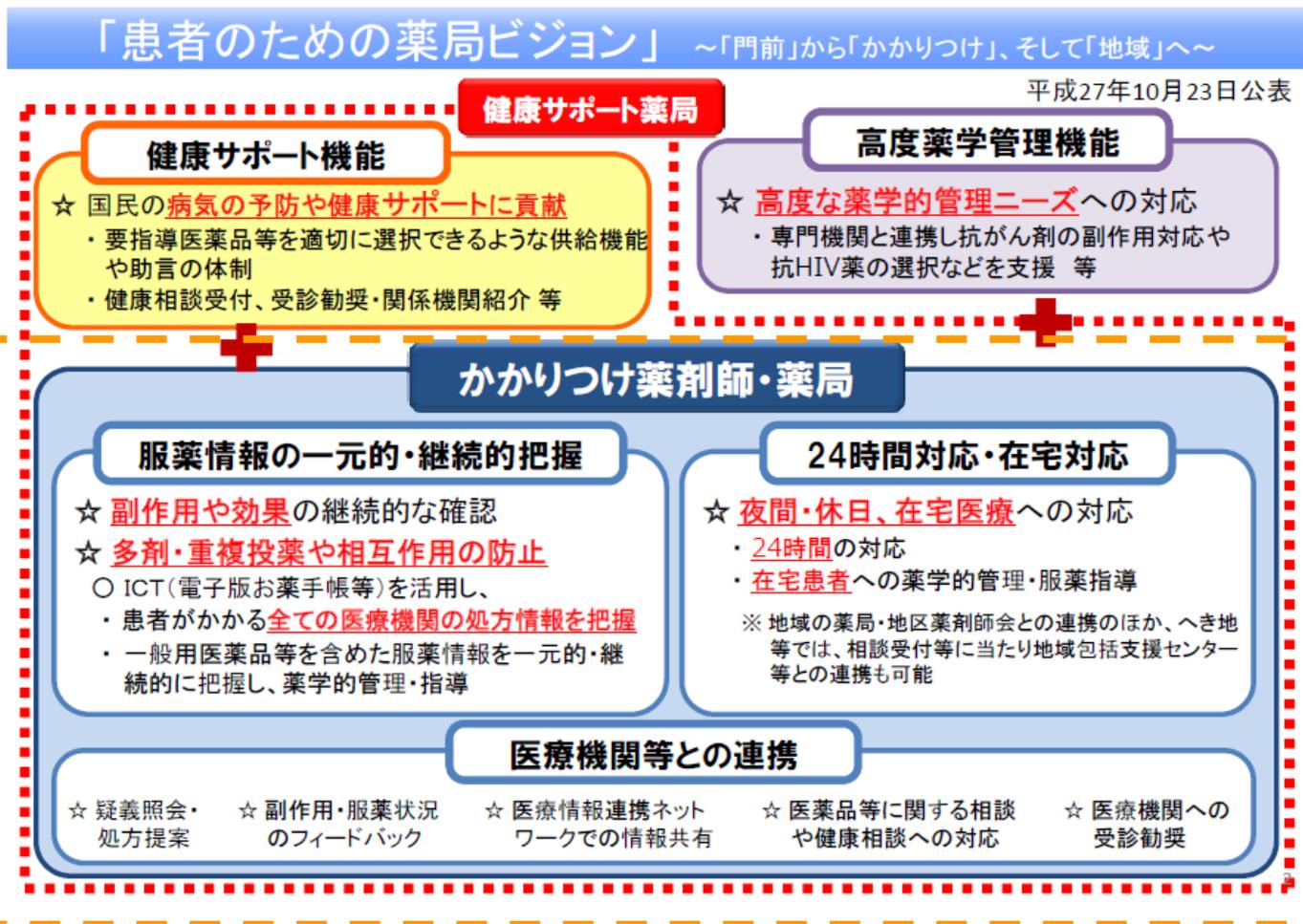
H29年3月末現在



| | 業種 | 施設数 | |
|----------|------------------------|--------|-----|
| 医薬品 | 薬局 | 4,046 | |
| | 製造業 | 250 | |
| | 製造販売業 | 第1種 | 45 |
| | | 第2種 | 128 |
| | 店舗販売業 | 1,870 | |
| | 卸売販売業 | 1,199 | |
| 配置販売業 | 337 | | |
| 医薬部外品 | 製造業 | 306 | |
| | 製造販売業 | 273 | |
| 化粧品 | 製造業 | 577 | |
| | 製造販売業 | 639 | |
| 医療機器 | 製造業 | 449 | |
| | 修理業 | 546 | |
| | 製造販売業 (第1種・第2種・第3種) | 329 | |
| | 販売業・賃貸業 (高度管理等) | 5,377 | |
| | 販売業・賃貸業(管理) | 19,128 | |
| 体外診断用医薬品 | 製造業 | 11 | |
| | 製造販売業 | 13 | |
| 再生医療等製品 | 販売業 | 33 | |
| | 製造販売業 | 0 | |

*平成29年4月現在、保健所設置市（大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市、枚方市）へ薬事業務の権限の一部が移譲されています。

かかりつけ薬剤師・薬局機能の推進について



【大阪府の現状と課題】

- 本府内には約4000件の薬局があるが、小規模薬局（薬剤師が1～2人）が4割を占めるため、府全体の機能強化のためには、これら薬局でも対応できる内容を検討することが必要。

服薬管理・残薬管理の推進を切り口とし、地域における多職種連携を推進

平成27年度

藤井寺保健所の活動として、医師から処方された薬の患者宅における管理状況や残薬の実態について調査を実施

- 協力の得られた43薬局から回答を得た。
- 飲み忘れの理由:「つい飲み忘れる(31件)」「自己判断(16件)」等
- 「保管場所を1か所にまとめる」「一包化」等を行っている患者は、残薬が少なかった。

平成28年度

国庫委託費によるモデル事業として以下を実施

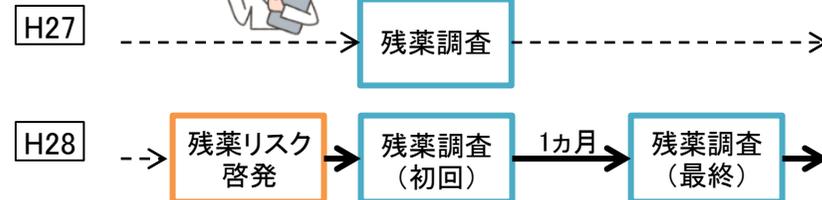
【服薬管理(残薬調整)、残薬リスク・飲み忘れを防ぐ工夫の啓発】
 薬局薬剤師が患者及びその家族等に医薬品の適正使用の観点から残薬のリスク、お薬の飲み忘れを防ぐ工夫を啓発。

また、お薬持参袋(ブラウンバック)の活用や他職種からの情報提供に基づく服薬管理(残薬調整)を実施。

⇒ アドヒアランスの向上 & 残薬問題の解消

- モデル事業実施期間:平成28年9月～11月
- 府民向け啓発資材(別添)、薬局店頭において使用するマニュアル及びフロー、お薬持参袋(ブラウンバック)を作成
- 健康展等において、一般府民等に対し、残薬リスクの啓発を実施(計12回)
- 事業に参加した薬局(318薬局)のうち、141薬局(44.3%)から回答を得た。薬局店頭において、のべ13,320人に対しマニュアルに基づいた残薬リスクの啓発を行い、のべ570人にブラウンバックを配布。
- 82薬局で残薬調査を実施した。

調査タイミング



患者アンケート結果(概要)



薬局薬剤師による残薬管理の実施について、「不要薬の廃棄」「処方調整」を希望する割合は、H27の調査時には半数以下であったが、H28の事業において、残薬リスクの啓発等を実施したところ、約8割の方が希望する結果に増加した。

他職種へのアンケート結果(概要)

最も多かった意見は、「薬剤師と確実に相談できる連絡先と時間を知りたい」であり、他訪問に合わせての配達など、顔のみえる関係、連携を期待する内容が多くあった。



- 薬剤師の残薬管理の積極的な実施が、残薬リスクの低減に加え、在宅医療の推進に向けて、多職種連携推進の切り口となることが確認できた。
- モデル地域でのこれらの取り組みの継続と、府全域への展開を行っていく。

➡ **H29年度の保健所活動特別推進事業を実施**

【本年度の取組み内容】

かかりつけ薬剤師・薬局

2

服薬情報の一元的・継続的把握

- ☆ **副作用や効果**の継続的な確認
- ☆ **多剤・重複投薬や相互作用の防止**
 - ICT(電子版お薬手帳等)を活用し、
 - ・ 患者がかかる**全ての医療機関の処方情報を把握**
 - ・ 一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ **夜間・休日、在宅医療**への対応
 - ・ **24時間**の対応
 - ・ **在宅患者**への薬学的管理・服薬指導
- ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

1

医療機関等との連携

- ☆ 疑義照会・処方提案
- ☆ 副作用・服薬状況のフィードバック
- ☆ 医療情報連携ネットワークでの情報共有
- ☆ 医薬品等に関する相談や健康相談への対応
- ☆ 医療機関への受診勧奨

【本年度の取組み内容】

- かかりつけ薬剤師・薬局の機能を発揮しやすくするため、次の2点を計画した。
 1. 「医療機関との情報共有の強化」
 2. 「24時間の相談対応等、薬局薬剤師の役割について他職種からの理解促進」

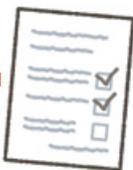


本年度の取組み1.

「医療機関等との連携」の機能に着目し、退院後も安心して調剤や訪問薬剤管理等を受けるため、医療機関から薬局に対する情報共有に使用する『薬剤管理情報提供書』の内容や提供方法の検討を図る。

(課題)

関係施設の意見を基に、情報提供項目や共有方法等の在り方について取りまとめ、継続的な取組みに繋げていく。



情報提供書における情報項目

- ① 入院病名や治療経過
- ② 退院時処方
- ③ 検査値
- ④ 服薬管理についての情報
- ⑤ 日常生活面のこと
- ⑥ 他職種の連絡先

本日の紹介部分



本年度の取組み2.

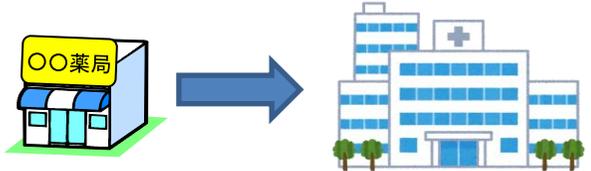
「24時間対応・在宅対応」の機能に着目し、他職種が薬のことで相談したいときに、薬局にいつでも相談連絡いただけるよう、地域のケア会議等において地域内の薬局の連絡先や応需できる業務内容について周知強化を図る。

(課題)

事業中に発生した相談事例について取りまとめ、未だ24時間対応に取り組んでいない薬局の後押しに活用していく。

【参考】

薬局⇒病院への服薬情報等提供書



情報提供の項目：

- 処方薬剤の服薬状況(コンプライアンス)及びそれに対する指導に関する情報
- 併用薬剤等(一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む。)の有無(有・無)
- 患者の訴え(アレルギー、副作用と思われる症状等)に関する情報
- 症状等に関する家族、介護者等からの情報
- 薬剤師からみた本情報提供の必要性
- その他特記すべき事項(薬剤保管状況等)

服薬情報提供料(調剤(薬学管理料):20点)

患者、その家族等若しくは保険医療機関の求めがあった場合又は薬剤師がその必要性を認めた場合において、患者の同意を得た上で、薬剤の使用が適切に行われるよう、調剤後も患者の服用薬の情報等について把握し、患者、その家族等又は保険医療機関へ必要な情報提供、指導等を行った場合に、所定点数を算定する。

(別紙様式1)

服薬情報等提供料に係る情報提供書

情報提供先医療機関名
 担当医 科 院 平成 年 月 日
 情報提供元保険薬局の所在地及び名称
 電 話 (FAX)
 保険薬剤師氏名 印

| | |
|-----------------------------------|--|
| 患者氏名 | |
| 性別(男・女) 生年月日 明・大・昭・平 年 月 日生(歳) 職業 | |
| 住所 | |
| 電話番号 | |

| 処方せん発行日 | 平成 年 月 日 | 調剤日 | 平成 年 月 日 |
|--|----------|-----|----------|
| 1 処方薬剤の服薬状況(コンプライアンス)及びそれに対する指導に関する情報 | | | |
| 2 併用薬剤等(一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む。)の有無(有・無)▼ 薬剤名等： | | | |
| 3 患者の訴え(アレルギー、副作用と思われる症状等)に関する情報 | | | |
| 4 症状等に関する家族、介護者等からの情報 | | | |
| 5 薬剤師からみた本情報提供の必要性 | | | |
| 6 その他特記すべき事項(薬剤保管状況等) | | | |

【記載上の注意】

- 1 必要がある場合には、続紙に記載して添付すること。
- 2 わかりやすく記入すること。
- 3 必要な場合には、処方せんの写しを添付すること。
- 4 「5」については、薬剤師が情報提供の必要性を認めた場合のみ、記載すること。

箕面市立病院との情報共有の取組について



滝ノ道ゆずる

一般社団法人 箕面市薬剤師会



【参加機関・施設の概要】

一般社団法人 **箕面市薬剤師会**



会員数：A会員53名（薬局）、B会員29名

備蓄・調剤センター（箕面市薬剤師会薬局）

箕面市立病院前にあり、一部のジェネリックを含む約1500品目以上を備蓄

TPN等無菌調製が可能なクリーンベンチを備えた無菌室を完備し、箕面市だけにとどまらず、近隣の支援センターとしての機能も果たしています



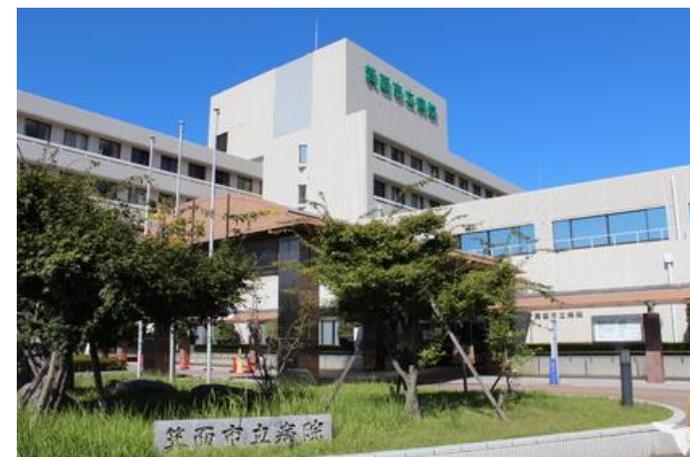
診療科目 23診療科

内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌代謝内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科

病床数 317床

薬剤部 薬剤師数 実働23名（8病棟で常駐体制）

院外処方率 約99%（外来患者の多くが市内薬局で薬剤交付を受けている）



箕面市薬剤師会処方箋受入薬局地図

箕面大滝 箕面駅周辺の薬局拡大



箕面駅周辺の薬局

- 11 ミック調剤薬局箕面店
- 12 おぎた薬局
- 13 一誠堂薬局
- 14 箕面クレハ薬局
- 15 サエラ薬局箕面店
- 16 柿の木薬局
- 17 めいぶる未来薬局
- 18 かろう薬局
- 19 山口薬局
- 20 カズ薬局

中地区

如意谷周辺の薬局

- 26 クローバー薬局
- 27 岡内薬局如意谷店
- 28 岡内薬局白島店
- 29 笹川薬局萱野店
- 30 アップルプラス薬局
- 31 青松園薬局

東地区

粟生周辺の薬局

- 38 キョウエイ調剤薬局箕面店
- 39 ちーぶ薬局箕面店
- 40 ファミリー薬局
- 41 ミドリヤ薬局
- 42 アイン薬局箕面店
- 43 サン薬局
- 44 ひまわり薬局

桜ヶ丘・桜周辺の薬局

- 8 クシロ薬局
- 9 なつめ薬局
- 10 みのお薬局

西地区

桜井駅周辺の薬局

- 1 レイ薬局
- 2 サンアイ薬局
- 3 エコソシエ薬局
- 4 キョウエイ調剤薬局箕面桜井店
- 5 もみじ薬局
- 6 キョウエイ薬局桜井店
- 7 キョウエイ調剤薬局牧落店

箕面市役所周辺の薬局

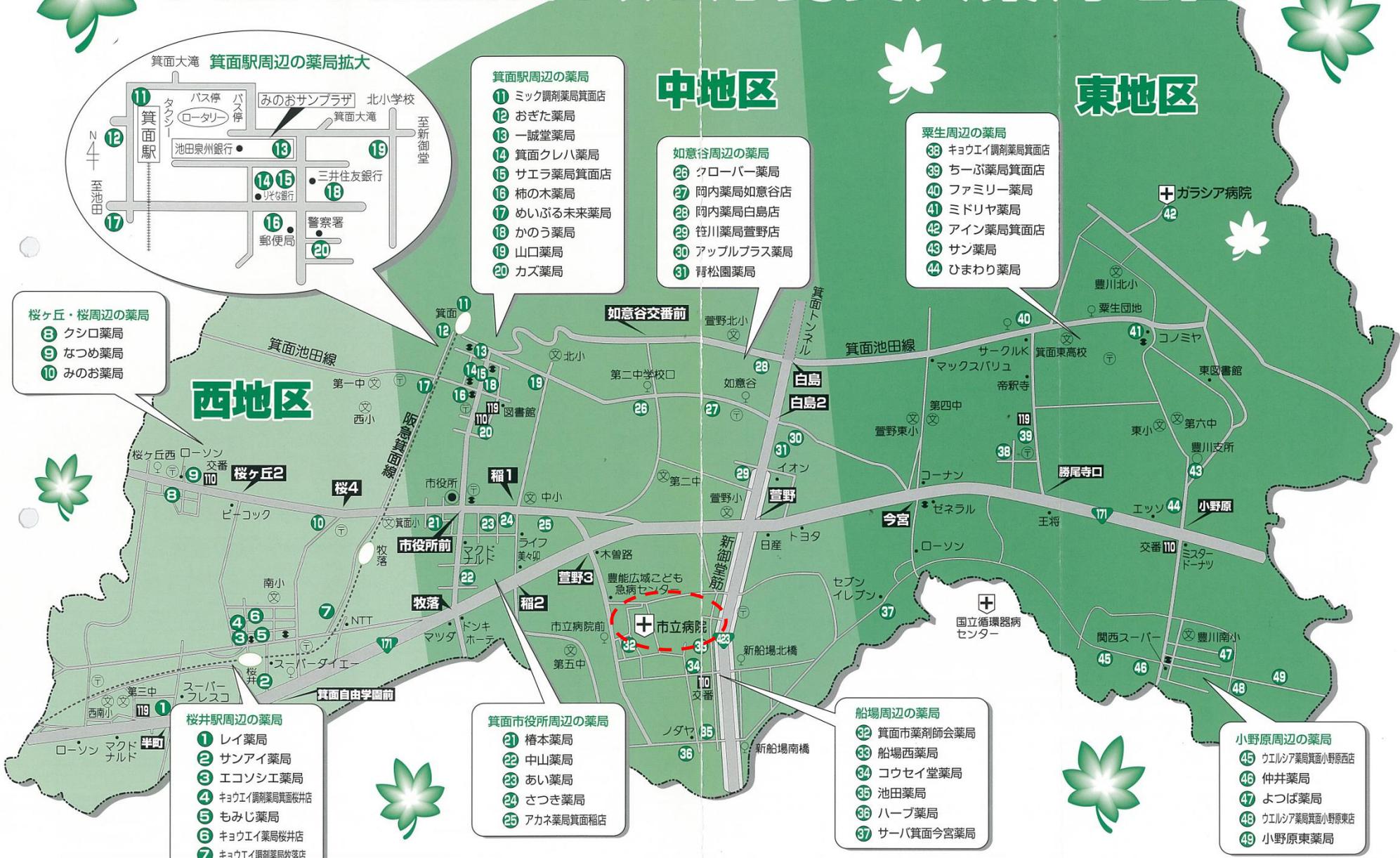
- 21 椿本薬局
- 22 中山薬局
- 23 あい薬局
- 24 さつき薬局
- 25 アカネ薬局箕面稲店

船場周辺の薬局

- 32 箕面市薬剤師会薬局
- 33 船場西薬局
- 34 コウセイ堂薬局
- 35 池田薬局
- 36 ハーブ薬局
- 37 サーバ箕面今宮薬局

小野原周辺の薬局

- 45 ウエルシア薬局箕面小野原西店
- 46 仲井薬局
- 47 よつば薬局
- 48 ウエルシア薬局箕面小野原東店
- 49 小野原東薬局



市立病院との連携(今回の事業以前から行っていること)

● 年2回の薬薬連携の意見交換会を開催

意見交換例

- ・処方せんに検査値を記載することについて
- ・糖尿病連携手帳について
- ・処方箋の記載（用法用量の記載方法等）について

● 最近の具体的な連携運用：

残薬調整業務の簡素化

(次のようなプロトコル（一部抜粋）の範囲内で薬局側で調整を実施)

- ・残薬調整する場合は患者に十分説明を行い合意のうえ行う。
- ・慢性疾患の常用薬を対象に、「減」のみ可能とすること。
- ・次回オーダー引用時の都合のため、ゼロとはしない。
- ・次回受診時までの日数+ α の余裕を持った調整とすること。
- ・調整を実施した場合、指定の様式により市立病院に報告をすること。

他

● その他

- ・定期的な病診連携懇話会へのオブザーバー参加
(本事業（退院時の情報共有）のことも9月の懇話会で紹介を実施)

事業の進行概要

平成29年

6月 箕面市薬剤師会との調整、箕面市立病院への協力依頼

7月 情報提供書の内容や作業手順の検討

- ✓ 対象とする患者の範囲や内容をどうするか？
- ✓ どのような手段(タイミング)で情報提供するか？
- ✓ 患者からの同意をどのように担保するか？

8月 薬薬連携の意見交換会を開催し、薬剤師会関係者への説明

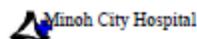
9～12月末 情報共有の実施

平成30年

1月 関係者へのアンケートの実施

2月 薬薬連携の意見交換会を開催し、アンケート結果等を踏まえて、今後の情報共有方法等の検討

事業で使用した薬剤管理情報提供書



薬剤管理情報提供書

〒562-0014
箕面市豊野五丁目7番1号
御中 箕面市立病院薬剤部
担当薬剤師

FAX

下記の患者さまについて情報提供いたしますので退院後の薬剤管理指導をよろしくお申し上げます。

| | | |
|------------|--|---------|
| 氏名 | 様 | 当院カルテ番号 |
| 生年月日 | (歳) | 性別: |
| 退院日 | 身長: cm | 体重: Kg |
| 疾病の状態 | 主病名 | |
| | 既往歴 | |
| 入院中の治療経過 | | |
| 特別な処置 | <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 点滴管理 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 麻薬管理 <input type="checkbox"/> 経管栄養 <input type="checkbox"/> 胃瘻 <input type="checkbox"/> 褥瘡の処置 <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 自己血糖測定 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引 <input type="checkbox"/> その他() | |
| 薬剤についての理解度 | <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> やや困難 <input type="checkbox"/> 困難 | |
| 服薬時の問題 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 服用拒否 <input type="checkbox"/> 嚥下困難 <input type="checkbox"/> 自己判断調整 <input type="checkbox"/> シート <input type="checkbox"/> 一包化 <input type="checkbox"/> 粉碎・錠カプセル <input type="checkbox"/> 降電離療法 | |
| 入院中の服薬管理 | <input type="checkbox"/> 自己管理 <input type="checkbox"/> 病棟管理 | |
| 退院後の服薬管理者 | <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族() <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> お薬ケース <input type="checkbox"/> 服薬カレンダー <input type="checkbox"/> 1日分ずつ準備する <input type="checkbox"/> 声掛け <input type="checkbox"/> その他() | |
| 介助(内服) | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 毎回配薬 <input type="checkbox"/> 薬を口に入れる <input type="checkbox"/> 嚥下介助 | |
| 介助(外用) | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 貼付剤 <input type="checkbox"/> 塗り薬 <input type="checkbox"/> 点眼剤 <input type="checkbox"/> 吸入薬 <input type="checkbox"/> 坐薬 <input type="checkbox"/> その他() | |
| 禁忌アレルギー | なし | |
| その他服薬の問題点 | | |
| 検査値 | 白血球 | 尿糞潜血 |
| | 赤血球 | ヘパソ |
| | A/γ D/C | eGFR |
| | 血小板 | AST |
| | CRP | ALT |
| 介護度 | <input type="checkbox"/> 支1 <input type="checkbox"/> 支2 <input type="checkbox"/> 要1 <input type="checkbox"/> 要2 <input type="checkbox"/> 要3 <input type="checkbox"/> 要4 <input type="checkbox"/> 要5 | |

箕面市立病院

| | |
|--------|---|
| 食事 | <input type="checkbox"/> 介助なし <input type="checkbox"/> 介助あり <input type="checkbox"/> 制限なし <input type="checkbox"/> 制限あり (<input type="checkbox"/> 塩分 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> その他) |
| 睡眠障害 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 睡眠剤使用 (<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり) |
| 排泄 | <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 排便 1回/ 日毎 下剤使用 (<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり) |
| 歩行 | <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他 |
| 同居 | <input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> 独居 |
| サービス利用 | <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> デイケア <input type="checkbox"/> デイサービス <input type="checkbox"/> ヘルパー <input type="checkbox"/> 訪問リハ <input type="checkbox"/> その他 () |
| 認知度 | <input type="checkbox"/> 日常生活自立度 () 認知症 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり |

| | |
|-----------|--|
| 退院時 処方 | |
| 特記事項 | |

| | 施設名 | 担当者名 | 連絡先(電話・FAX) |
|------------|-----|------|-------------|
| かかりつけ医 | | | |
| 訪問看護ステーション | | | |
| ケアマネジャー | | | |

様

箕面市立病院

「薬学管理情報提供書の項目検討」

入院病名や治療経過

Minoh City Hospital 薬剤管理情報提供書

〒562-0014
箕面市萱野五丁目7番1号
御中 箕面市立病院薬剤部
担当薬剤師

FAX

下記の患者さまについて情報提供いたしますので退院後の薬剤管理指導をよろしくお願い申し上げます

氏名 様 当院カルテ番号

生年月日 (歳) 性別

身長: cm 体重: Kg

退院日

| | |
|------------------|--|
| 疾病の 状態 | 主病名 |
| | 既往歴 |
| 入院中 の治療 経過 | |
| 特別な 処置 | <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 点滴管理 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 麻薬管理 <input type="checkbox"/> 経管栄養 <input type="checkbox"/> 胃瘻 <input type="checkbox"/> 褥創の処置 <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 自己血糖測定 <input type="checkbox"/> 喀痰吸引 <input type="checkbox"/> その他() |

体表面積を換算する場合もあるため、年齢、体重だけではなく身長もあった方が良いのではないかと。

併用薬等の考察の観点から、主病名だけではなく、既往歴や入院経過の概要もあった方が良いのではないかと。

規格や剤型を考察する上で、処置状況を把握できた方がよいのではないかと。

服薬管理についての情報

| | | | | |
|------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 薬剤についての理解度 | <input type="checkbox"/> 良好 | <input type="checkbox"/> やや困難 | <input type="checkbox"/> 困難 | |
| 服薬時の問題 | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> 服用拒否 | <input type="checkbox"/> 嚥下困難 | <input type="checkbox"/> 自己判断調整 |
| 投薬方法 | <input type="checkbox"/> シート | <input type="checkbox"/> 一包化 | <input type="checkbox"/> 粉碎・脱カプセル | <input type="checkbox"/> 簡易懸濁法 |
| 入院中の服薬管理 | <input type="checkbox"/> 自己管理 | | <input type="checkbox"/> 病棟管理 | |
| 退院後の服薬管理者 | <input type="checkbox"/> 本人 | <input type="checkbox"/> 家族（ | ） <input type="checkbox"/> その他（ | |
| 服薬管理の工夫 | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> お薬ケース | <input type="checkbox"/> 服薬カレンダー | <input type="checkbox"/> 1日分ずつ準備する |
| | <input type="checkbox"/> 声掛け | <input type="checkbox"/> その他（ | | |
| 介助（内服） | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> 毎回配薬 | <input type="checkbox"/> 薬を口に入れる | <input type="checkbox"/> 開封介助 |
| 介助（外用） | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> 貼付剤 | <input type="checkbox"/> 塗り薬 | <input type="checkbox"/> 点眼剤 |
| | <input type="checkbox"/> 坐薬 | <input type="checkbox"/> その他（ | | |
| 禁忌アレルギー | なし | | | |
| その他服薬の問題点 | | | | |

日本病院薬剤師会の「薬学管理サマリー」の項目も参考に、服薬カレンダーなどの選択肢を追加（作業量軽減のため、基本的にはチェックボックスによる項目を考察）

退院時処方

| | |
|-----------|--|
| 退院時 処方 | |
| 特記事 項 | |

投与量を確認する上で、特に重要な検査値(肝・腎機能)を選択。

検査値

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|---------|-------------------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|----|---|----------------|
| | A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AA AB AC AD AE AF AG AH AI AJ AK AL AM AN AO AP AQ AR AS AT AU AV AW AX AY AZ BA BB BC BD BE BF BG BH BI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 確定保存 | 一時保存 | 保存+印刷 | 終了 | 検査結果取得 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | から | 7 | 日間の検査結果を取得します。 |
| 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 48 | 検査値 | 白血球 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 尿素窒素 | | | | | | | |
| 49 | | 赤血球 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | クレアチン | | | | | | | |
| 50 | | ヘマトクリット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | eGFR | | | | | | | |
| 51 | | 血小板 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | AST | | | | | | | |
| 52 | | CRP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ALT | | | | | | | |
| 53 | | 介護度 | <input type="checkbox"/> 支1 | <input type="checkbox"/> 支2 | <input type="checkbox"/> 要1 | <input type="checkbox"/> 要2 | <input type="checkbox"/> 要3 | <input type="checkbox"/> 要4 | <input type="checkbox"/> 要5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 54 | | 食事 | <input type="checkbox"/> 介助なし | <input type="checkbox"/> 介助あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55 | | | <input type="checkbox"/> 制限なし | <input type="checkbox"/> 制限あり (<input type="checkbox"/> 塩分 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> その他) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

検査値については、電子カルテから直接落とし込むことが出来る工夫。

日常生活面のこと、他職種の連絡先など

| | | | | | | | |
|--------|--------------------------------------|-------------------------------|---|---|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 介護度 | <input type="checkbox"/> 支1 | <input type="checkbox"/> 支2 | <input type="checkbox"/> 要1 | <input type="checkbox"/> 要2 | <input type="checkbox"/> 要3 | <input type="checkbox"/> 要4 | <input type="checkbox"/> 要5 |
| 食事 | <input type="checkbox"/> 介助なし | | <input type="checkbox"/> 介助あり | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 制限なし | | <input type="checkbox"/> 制限あり (<input type="checkbox"/> 塩分 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> その他) | | | | |
| 睡眠障害 | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> あり | 睡眠剤使用 (<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり) | | | | |
| 排泄 | <input type="checkbox"/> 自立 | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 | | | | |
| | 排便 | 1回/ | 日毎 | 下剤使用 (<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり) | | | |
| 歩行 | <input type="checkbox"/> 自立 | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助 | | <input type="checkbox"/> 不可 | | |
| | <input type="checkbox"/> 杖 | <input type="checkbox"/> 歩行器 | <input type="checkbox"/> シルバーカー | <input type="checkbox"/> 車いす | <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 同居 | <input type="checkbox"/> あり () | | | | <input type="checkbox"/> 独居 | | |
| サービス利用 | <input type="checkbox"/> 訪問看護 | <input type="checkbox"/> デイケア | <input type="checkbox"/> デイサービス | | <input type="checkbox"/> ヘルパー | | |
| | <input type="checkbox"/> 訪問リハ | | <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| 認知度 | <input type="checkbox"/> 日常生活自立度 () | | 認知症 | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> あり | | |

退院時共同指導に出席できなかった場合でも、患者の状態を把握できるのではないか。

| | 施設名 | 担当者名 | 連絡先 (電話・) |
|------------|-----|------|-----------|
| かかりつけ医 | | | |
| 訪問看護ステーション | | | |
| ケアマネージャー | | | |

多職種連携の観点から、必要な情報ではないか。

事業における作業要領

対象患者の範囲

箕面市立病院において、次の1. 又は2. に該当する患者さんに、「事業説明」の紙面を用いて趣旨を説明し、理解をいただけた方を対象とする。

1. 入院前から箕面市内にかかりつけ薬局があり、退院後もそのかかりつけ薬局へ行く患者
2. 在宅医療絡みでカンファレンスを実施し、退院後箕面市内の薬局で処方せんを応需する予定の患者(この機会にかかりつけの薬剤師・薬局を持つ場合を含む)

「薬剤管理情報提供書」の提供対象となる薬局

本事業においては、箕面市薬剤師会所属薬局(会員薬局)を実施対象とする。

「薬剤管理情報提供書」の提供の方法

病院から各薬局にFAX送付提供する。

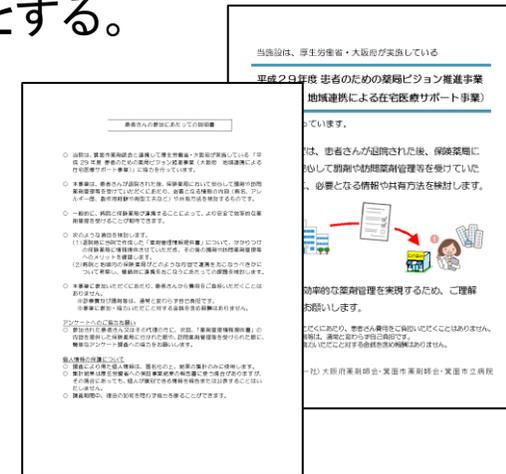


各薬局での活用状況の確認

1. 服薬管理に積極活用し、「薬剤管理情報提供書」の共有の有用性や収載項目について考察する。(事業後にアンケート調査)
2. 対象の患者さんから適宜(良いタイミングは各薬局で判断)アンケートを聴取する。

※患者さんに直接書いていただき難しい場合は、聞き取りによる先生方の記載でも支障はない。

注意: 一旦、情報提供書での情報共有があっても、万が一、その後に患者さんが途中で事業への協力を断る意思を示された場合は、受領した情報についても、すでに報告済みの集計結果を除いて、情報を破棄すること。



病院で患者へ説明(口頭での同意をもらう)している事項

平成 29 年度患者のための薬局ビジョン推進事業

(退院時の情報共有)

患者さまの参加にあたっての説明書

1. 事業について

当院は、箕面市薬剤師会と連携して厚生労働省・大阪府が実施している「平成 29 年度 患者のための薬局ビジョン推進事業（大阪府：地域連携による在宅医療サポート事業）」に協力しています。

本事業は、患者さまが退院された後、保険薬局において安心して調剤や訪問薬剤管理等を受けていただくにあたり、保険薬局側で必要となる情報の内容（病名、アレルギー歴、副作用経験や剤型工夫など）や病院からの伝達方法を検討するものです。

この事業において、次のような項目を検討します。

- (1)退院時に「薬剤管理情報提供書」を用いて、かかりつけの保険薬局に情報提供させていただき、その後の調剤や訪問薬剤管理指導等へのメリットを確認します。
- (2)病院と地域内の保険薬局がどのような内容で連携を行うべきか考察し、継続的に連携を行うにあたっての課題を検討します。

2. 薬局への情報提供について

退院時に「薬剤管理情報提供書」を作成し薬局へ情報提供します。

「薬剤管理情報提供書」では、入院中の病名や治療経過、肝機能、腎機能などの検査結果、服薬管理についての情報、日常生活（食事、睡眠、排泄、自立度、介護サービスの利用、介護サービスの提供者等）、退院時処方などの情報を提供します。

病院と保険薬局が連携することによって、患者さまにより安全で効率的な薬剤管理指導等を提供できます。

3. 費用について

本事業に参加いただくにあたり、患者さまから費用をご負担いただくことはありません。

※診療費及び調剤等は、通常の保険診療の自己負担分を負担していただきます。

4. アンケートへのご協力をお願い

参加された患者さま又はその代理の方に、連携先の保険薬局から簡単なアンケートをお願いする予定ですので、ご協力をお願いします。

5. 個人情報の保護について

薬局に提供した「薬剤管理情報提供書」の個人情報は、患者さまの薬剤管理指導等の目的で利用され、お薬の情報と同様に大切に保管されます。

本事業で得られた効果やアンケート結果の集計などを行ないませんが、個人情報は、匿名化したうえで、集計を行ないます。

集計結果は大阪府および厚生労働省への実証事業結果の報告書に使う場合がありますが、その場合であっても、個人が識別できる情報を報告または公表することはいたしません。

6. 参加の自由について

この事業への参加するかしないかは、患者さまの自由な意思で決めることができます。説明を聞かれてよくお考えの上、ご自分の意思で決めて下さい。

参加されない場合でもその後の治療などに何ら不利益を受けることはありません。

また、参加された後でも、理由の如何を問わず協力を断ることができます。お断りになった場合は薬局に提供済みの情報についてもすでに報告済みの集計結果を除いて破棄いたします。

7. 質問の自由

この事業について質問がありましたら、いつでも質問して下さい。

※実物には次の各連絡先(責任者)を記載

- 箕面市立病院
- 箕面市薬剤師会
- 大阪府担当部局

<平成29年12月末現在状況>

○薬剤管理指導情報提供書について説明した患者：43名

○うち同意を得た患者：34名 ※12月末時点では内8名は入院中

○同意取得説明の平均時間（N=43）

平均 14.3分（最大20分、最少10分）

○情報提供書作成時間（N=26）

平均 66.3分（最大105分、最少30分）

○提供先薬局 19カ所

(患者背景)

○年齢層 (N=26) 44歳～96歳

60歳代以下 7名, 70歳代 11名, 80歳以上 8名

○男女別 (N=26) 男性 11名, 女性15名

○入院の主たる病名 (N=26)

骨折等の整形外科疾患

脳出血、脳梗塞等の神経内科疾患

糖尿病、がん

アンケート事項(実施効果の評価) ※集計中

事業に参加した関係者(薬局・病院)

- ・退院時の情報を病院から薬局に提供・共有を図ることの是非
(病院側の業務負担、薬局側の活用展望)
- ・提供対象とする範囲 (在宅移行をする患者のみ or もっと広い対象で提供)
- ・提供情報の内容項目について
(情報項目への改善点、他の情報提供文書への波及展望)
- ・連携のツールとして
(カンファレンス等による直接対面による情報共有との比較)

事業に参加した患者(家族)

- ・退院時の情報を病院から薬局に提供・共有を図ることの是非
(在宅移行における安心につながるかどうか)
- ・退院後の薬の管理について、薬局薬剤師に期待すること。
(自由記載)

各参加薬局からのアンケート（回収作業中）より抜粋

○病院から「薬剤管理情報提供書」の提供を受けることについて

- ◆ 薬剤管理を行う上で有益であると感じた 16件
- ◆ それほど有益と感じない 0件
- ◆ どちらとも言えない 1件

○「薬剤管理情報提供書」の提供対象とする範囲

- ◆ 在宅医療（訪問薬剤管理）に関係する患者のみで良い 1件
- ◆ 範囲を広げて提供して欲しい対象もある 9件 （抗がん剤治療、糖尿病等）

○提供方法やタイミングについて

- ◆ 病院からのFAX提供が良い 14件
- ◆ 患者の来局時の持参による提供で良い 1件
- ◆ どちらでも良い 1件

薬局側で有益と感じたエピソード(各薬局からの口頭聞き取りとアンケート(回収作業中)より)

- 入院していることもわからなかったもので、病名や入院中の様子が分かることで、その後患者と接する上で有益。薬のことの説明がスムーズであった。
- 来局時の患者からの自己申告ではなく、服薬の理解度の実態などが分かる。
- 手術のため入院すると聞いていた患者について、入院中に脳梗塞が発症したため、抗凝固剤が開始となっていたこと等、情報提供書を基に把握できたため、適切な指導が出来た。
- がん患者は、併用薬も多いが、薬局内では深く質問し難かったり、家族だけが来局する(案外家族は病気の状況を知らない)場合もあるので、病院から直接情報提供いただけると、薬学的な管理にとって大変有用と感じる。
- 在宅医療のケースに限らず、患者概要を共有いただくことは総じて有用。また、純粋な薬学管理の情報共有ということではカンファレンスよりも充実していると感じる。カンファレンスも他職種との連携のため、参加できればより良い。
- 一包化や粉碎かどうか、は結局は薬局で改めて相談することになるため、こうしたサマリーで特に有用なのはADLや薬学管理の欄よりも、むしろ病名、入院経過、既往歴、特記事項、他職種の情報欄(複数類似意見)。

【参考】

患者からのアンケート(回収作業中)からの抜粋 ※薬局での聞き取りを含む

○退院時の情報を病院から薬局に提供・共有を図ることの是非

- ◆ 薬局で、病院と切れ目なく同様な薬の管理を期待できるので良いことと感じる 6件
- ◆ 必要なことは薬局で自ら説明するので情報提供は不要と感じる 0件

- ・ 継続した投薬管理指導が受けられるので安心できる。
- ・ こちらの状況を把握してくれていたのが安心感があった。(家族が来局)

病院からのアンケート(回収作業中)からの抜粋

- ・ 担当した患者は自立されており、「日常生活動作」欄に記載する内容は少なかったが、それでも作成送信に45分は要した。書き慣れれば時間短縮は出来ると思うが、日々の業務に組み込む負担は大きい。ただ、薬剤師視点から、薬剤に関して管理状況等、詳細な情報提供ができる。
- ・ カンファレンスへの参加や、担当看護師の協力を得ることで時間の短縮と正確な内容の記載が出来た。このような情報提供を行うことで、市中の薬局との繋がりが出来ると感じる。
- ・ 項目が多い。薬歴や薬物治療の予定、副作用で見て欲しいポイントに絞ると、もう少し早く作成できると考える。また、特殊なプロトコルで治療中の患者の治療スケジュールなどは他に提供する機会がないので、有意義ではないかと感じる。

病院からのアンケート(回収作業中)からの抜粋 続き

- 要介護区分等は変更されている可能性もあるので正確な記載が難しい。また、食事等のADL部分を記入することも薬剤師が提供する情報としては難しい。
- (既に医師の紹介状や看護サマリーなどもあり)多部署から多種類の文書が作成されることは合理的でない。糖尿病連携手帳のように1冊の手帳(ノート)で運用できないか。そうすれば病院側への情報のフィードバックも可能になる。
- 情報提供した内容が、薬局での指導にどのように役立ったのかそれにより何か変化があったのかなど、その後の情報が分からない。
- その都度ファックスは負担が大きい。メールでやり取りできるようになれば良いと思う。また、アナログでなく診療データの共有ができれば負担なく情報共有できるのではないか。
- 繰り返し入院される患者の提供書を欠かさず作成することは業務繁忙な場合もあり難しい。
- 退院後、服薬管理をする際に必要な情報や入院以前からの薬物アレルギーについて詳しく伝達できることが他の提供書とは異なっていて良い点。

おわりに

- 今回の事業のポイント
 - ✓ 一方的な薬局側の活用意識だけではなく、病院側の作業負担との釣り合いを踏まえた項目設計をすること。
 - ✓ 患者から実施の意義を理解してもらうこと(同意を得ること)。
 - ✓ 事業の成果を踏まえ、「薬学管理情報提供書」の情報項目を見直して、継続実現性のある様式を作成する。
- 事業で実施した情報共有は、かかりつけ薬剤師・薬局の機能推進の観点からは有効な手段と考察された。しかし、患者利益のためにどれほど有効かは今後も検討を重ねていく必要がある。
- 今後も薬薬連携のさらなる推進(施設間の情報共有、研修の実施など)を実施していく。



ご清聴ありがとうございました